

# 競技注意事項

1 本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会競技注意事項によって実施する。

## 2 ナンバーカードについて

- (1) 本年度愛知陸協登録者は、登録ナンバーカードを使用する。
- (2) 愛知陸協や友の会に登録をしていない競技者は、受付でナンバーカード(2枚)を配付する。なお、小学生男子100m招集完了時刻以降、ナンバーカード配付は招集所で行う。競技後、安全ピンとともに回収係(招集所)へ必ず返却すること。
- (3) ナンバーカードは胸と背にはっきり見えるようにつける。跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。
- (4) トラック競技に出場する競技者(リレー競技については、第4走者のみ)には、招集時に写真判定用の腰ナンバーカードを配付する。ランニングパンツの右横に、そのままの大きさを明確に数字が読めるようにつける。
- (5) 腰ナンバーカードはフィニッシュ後、回収係(招集所付近)に返却する。

## 3 ウォーミングアップについて

(1) 競技開始前のウォーミングアップは以下のように行う。ただし、大会の準備に支障のない範囲で行うこと。

①レーン使用区分は原則として次のとおり。

トラック内のブルータータンはジョギング、ウォーキング

1・2レーンは中・長距離、3～7レーンは短距離、8・9レーンはハードル

②トラックを横切る際は、走ってくる人がいないか十分確認をする。

③8時45分前にはメインストレートでのウォーミングアップを終了する。

(2) 競技時間帯は競技役員の指示に従って、競技運営に支障をきたさないよう注意する。

(3) 投てき種目の練習はできない(メディシンボールでの練習も不可)ので、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。

## 4 招集について

(1) 招集所はゴール付近のゲートに設ける。

(2) 参加の招集は本人が行い、時間に遅れた者は棄権とみなし、出場を認めない。

(3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技		30分前	20分前
跳躍競技	走高跳・走幅跳	40分前	30分前
	棒高跳	70分前	60分前
投てき競技(砲丸投)		40分前	30分前

(4) 出場する競技者は招集開始時刻から招集完了時刻の間に招集所の競技者係に、種目、組、レーンを伝え、チェックを受ける。その際、腰ナンバーカードが必要な競技者はあらかじめ配付を受けておく。腰ナンバーカードを受け取っただけでは、招集が完了していないので注意する。

(5) 招集を受けたら、各種目のスタート付近やピットに速やかに移動し、競技開始前に最終コール(点呼)を受ける。

(6) 他の種目を同時に兼ねて出場する競技者は、競技者係(招集所)に事前に申し出て、指示を受ける。

## 5 競技について

(1) トラック競技について

①スタートは、全てのレースで合図を英語とし、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。

②小学生のスタートは友の会ルールを採用し、同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競

技者を失格とする。

- ③風力は50m、100m、200m、走幅跳で計測をする。
- ④50mではスターティングブロックを使用しなくてもよい。
- ⑤短距離種目(ハードルを除く)についてはブロック合わせのみとし、スタート練習はしない。
- ⑥400mまでのレーン使用の競技では、フィニッシュ後も他の競技者の安全のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)を減速し止まる。

## (2) フィールド競技について

- ①走幅跳と砲丸投について、各競技者は3回の試技ができる。その中で上位の有効な成績を得た競技者8人は、さらに3回の試技ができる。競技者が8人以下の場合には、全競技者が6回の試技ができる。
- ②中学走幅跳と中学砲丸投の1回目の試技が無効試技でない場合は、全て計測する。2回目以降は次のように計測ラインを設け、計測ラインに満たない試技は無効試技とする。なお、計測ラインは天候等により、フィールド審判長の判断で変更する場合がある。

	中学男子	中学女子
走幅跳	4m80	4m20
砲丸投	7m50	7m20

## ③バーの上げ方

- ・中学・一般・高校男子走高跳の最初の高さは1m40とし、以後は5cmずつ上げていく。
  - ・中学・一般・高校女子走高跳の最初の高さは1m20とし、以後は5cmずつ上げていく。
  - ・棒高跳の最初の高さは、跳躍審判員で協議し、フィールド審判長が決定する。
  - ・走高跳の最初の高さは、天候により変更する場合がある。
- ④トラック競技とフィールド競技が重なった場合、競技審判に申し出てトラック競技を優先すること。原則としてトラック競技出場後にフィールド競技に戻った時点のラウンドの試技から続けることとする。
  - ⑤走幅跳と砲丸投の試技数は、天候により変更する場合がある。
  - ⑥砲丸投の砲丸は、競技場備え付けの物を使用する。
  - ⑦競技終了後は、自分の助走マーカを必ず片づける。

## (3) リレー競技について

- ①リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の60分前までに招集所へ提出する。用紙は受付後、招集所に用意する。
  - ②リレーのマークは主催者側で用意したものを使用する。
  - ③当競技場は30mのテイクオーバーゾーンに改修されていない。旧スターティングライン(青色の短いライン)をテイクオーバーゾーンの入口とする。特にテープ等を貼らないので注意する。
- 6 一般・高校/中学生/小学生(学年別)の部門別に各種目の優勝者には賞状とメダルを授与する。(非公認も順位の対象とする) 中学生/小学生(学年別)の各種目2位、3位には賞状を授与する。
  - 7 スパイクピンは全天候用の物を使用し、トラック・フィールドともに7mm以下を使用すること。ただし、走高跳は12mm以下の物を使用する。
  - 8 大会における傷害については主催者が応急手当は行うが、その後の責任は負わないものとする。ただし、傷害保険に加入するため、その範囲内で対応する。なお、会場への行き帰りについても傷害保険の対象となっている。
  - 9 各種目の記録は、スタンド正面入口付近に掲示する。
  - 10 貴重品類の管理は各自で行い、盗難等に注意すること。
  - 11 カメラ・ビデオ等の撮影は、出場の団体・学校と選手の家族を除き必ず本部で許可を受けること。ただし、応援席から撮影すること。